

男子第71回・女子第70回 全日本実業団ソフトテニス選手権大会

1. 主 催 (公財)日本ソフトテニス連盟

2. 主 管 宮崎県ソフトテニス連盟

3. 共 催 宮崎市 日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ宮崎市実行委員会
都城市 日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ都城市実行委員会

4. 期 日 2026年7月31日(金) 開会式・監督会議 午後4時～
8月1日(土) 受 付 午前7時30分～
競技開始 午前8時30分～
8月2日(日) 受 付 午前8時00分～
競技開始 午前9時00分～
8月3日(月) 予 備 日 (荒天の場合)

5. 会 場

監督会議・開会式

7月31日(金) 男子 宮崎市生目の杜遊古館 多目的室
〒880-2101 宮崎市大字跡江4200番地3 (生目古墳群隣接)
TEL : 0985-47-8001
女子 都城運動公園 (屋内競技場)
〒885-0033 宮崎県都城市妻ヶ丘町42街区
TEL : 0986-23-7502

競 技

8月1日(土) 男子① 宮崎市生目の杜運動公園テニスコート (砂入り人工芝16面)
〒880-2101 宮崎市大字跡江4461番地 1
TEL : 0985-47-6222

男子② 宮崎市清武総合運動公園第2テニスコート (砂入り人工芝9面)
※1日目のみ
〒889-1602 宮崎市清武町今泉甲530番地
TEL : 0985-85-1148

女子 都城運動公園庭球場 (砂入り人工芝16面)
〒885-0033 都城市妻ヶ丘町42街区
TEL : 0986-23-7502

8月2日(土) 男子 宮崎市生目の杜運動公園テニスコート (砂入り人工芝16面)
女子 都城運動公園庭球場 (砂入り人工芝16面)

6. 種 別 男子・女子団体戦

7. ルール ソフトテニスルールブック(2026.4.1発行版)による(7ゲーム)
※マッチ開始前の挨拶が終わった後のサービス、レシーブ又はサイドの選択は、副審がコインのA面とB面を双方のプレーヤーにそれぞれ示し、コインを投げる。A面が上になった場合は正審の右側が、B面が上になった場合は正審の左側がそれぞれ先取権を得る。なお、トスは進行の都合により、事前に行っておくことができる。

8. 大会使用球 選択制(ケンコーボール・アカエム・ダンロップ)

9. 練習 2026年7月31日(金) 午前9時～午後4時(割り当て練習) 無料
宮崎市生目の杜運動公園テニスコート(砂入り人工芝16面)
宮崎市清武総合運動公園第2テニスコート(砂入り人工芝9面)
都城運動公園庭球場(砂入り人工芝16面)

10. 参加資格

- (1) 企業・官公庁等のチームであり、1所属団体単位を原則とする。なお、企業の場合は、関連団体(子会社・外郭団体・社員の出向等)に勤務する者は同一所属団体として認める。チームの編成単位は同一都道府県連盟に会員登録することを原則とする。
(ただし、選手を兼ねない部長・監督はこの限りではない)
- (2) 出場選手および監督は公認審判員制度の有資格者であること。(ただし、選手を兼ねない部長はこの限りではない)なお、技術等級制度の資格を所持していることが望ましい。
- (3) 部長及び出場選手は所属団体(子会社・外郭団体・社員の出向等)に勤務する者とする。(ただし、選手を兼ねない監督はこの限りではない)
- (4) 2026年4月1日から本大会までに、所属団体を移動した選手(選手を兼ねる部長・監督を含む)は本大会に出場できない。
- (5) 2026年度推薦チーム(2025年度の本大会で男子ベスト16、女子ベスト4)

男子：NTT西日本	(広島)	明電舎A	(静岡)
ワタキューセイモア	(京都)	福井県庁	(福井)
ベスト	(東京)	川口市役所	(埼玉)
ヨシザワA	(三重)	ヨネックス	(東京)
アキムA	(埼玉)	太平洋工業	(岐阜)
厚木市役所	(神奈川)	プロテリアル	(茨城)
東邦ガスA	(愛知)	東京ガスA	(東京)
東ソー南陽	(山口)	アキムB	(埼玉)
女子：ナガセケンコー	(東京)	ダンロップ	(福島)
アドマテックス	(愛知)	アキム	(埼玉)

- (6) 都道府県別参加チーム数は下記のとおりとする。

- | | |
|----------------|-----------|
| ① 東京都・開催都道府県 | 男女各6チーム以内 |
| ② 神奈川県・愛知県・大阪府 | 男女各4チーム以内 |
| ③ その他の都道府県 | 男女各3チーム以内 |

11. チームの編成

- (1) 男子・女子ともに年齢制限はしない。
- (2) 1所属団体からA・B2チームまでの出場は認めるが、A・B間における選手の交代は認めない。
- (3) 1所属団体からA・Bチーム及び男子チーム・女子チームの出場について監督の兼任は不可。
- (4) 部長1名・監督1名（必須）・選手4名以上8名以内でチームを編成する。ただし選手5名以内でチームを編成する場合は受付時に競技委員長まで届け出ること。
部長・監督は選手登録をすれば選手を兼ねることができる。

12. 試合方法

- (1) トーナメントまたはリーグ戦。
- (2) 男子・女子ともに3ペアによる点取り対抗戦とし、対戦の都度オーダーを変えてもよい。
- (3) 審判については、原則、相互審判とし、準々決勝以降を本部審判とする。
女子については、参加数により全試合本部審判になる場合がある。

13. 参加料 1チーム 30,000円

※登録選手に会員登録制度の未登録者(監督を含む)が含まれる場合
1チーム 45,000円(ただし選手を兼ねない部長は含まない)

14. 申込方法

- (1) 大会申込システムにより各都道府県連盟より申し込むこと。
- (2) 申込期日： 2026年6月18日(木)

15. 宿泊申込 斡旋はしない(各自手配のこと)

16. 参加の条件

- (1) ユニフォーム及びシューズは、「ユニフォーム等の着用基準」を遵守した製品を着用すること。なお、ユニフォームはチームとして同一のものを着用することが望ましい。
- (2) ラケット、ストリングは(公財)日本ソフトテニス連盟で公認された製品を使用すること。
- (3) 選手変更をする場合「選手変更についての取扱い」記載内容を遵守すること。なお、選手を変更・追加できる総数は、当初の申し込みより2名以内(選手を兼ねない、部長・監督は除く)とし、原則監督会議までに変更届を提出すること。
- (4) 所定時刻までに受付を完了し、開会式にはユニフォームを着用の上、必ず参加すること。
- (5) 2025年度優勝チームは、優勝盾を整備し開会式において必ず返還すること。
- (6) 日本連盟指定のゼッケンを着用し、必ず四隅を止めること。
- (7) 入賞チームは、ユニフォームを着用の上、必ず表彰式等に参加すること。
- (8) 公認審判員ワッペン及びイエローカードを携行し、審判を担当するときはワッペンを左胸に着用すること。
- (9) 参加者は、大会前に健康診断を受ける等、大会期間中は健康管理に十分留意すること。
また、マイナ保険証又は資格確認書を持参すること。なお、大会期間中における会場への移動、駐車場内、試合中、その他の事故について、大会主催者は一切の責任を負わない。
- (10) 本大会に係わる映像等の広報についての活用と一切の権利については、日本連盟に帰属し、

承諾するものとする。

(11) 参加者及び関係者は、倫理規程を遵守すること。

17. その他

- (1) 今大会の組合せは特別な事情がない限り、開会式の10日前までには日本連盟ホームページに公開する。
- (2) 37.5℃以上の発熱のある選手は大会参加を見合わせる。
- (3) 新型コロナ、インフルエンザの陽性判定を受けた場合、有症状は発症日（0日）から、無症状は検査を受けた日から、5日間は外出を控える。
- (4) 上記に当たらない場合でも、咳、倦怠感などの症状を有する者はマスクの着用などの感染拡大予防に留意する。

18. アンチ・ドーピングについて

- (1) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
- (2) 本競技会参加者（18 歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18 歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。

- (3) 本競技会に参加する 18 歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯してください。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできます。18 歳未満の競

技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出してください。なお、親権者の同意書の提出は 18 歳未満時に 1 回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出てください。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出してください。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。

- (4) 本競技会が国内最高レベルの競技大会に該当し、禁止物質・禁止方法を使用して治療を行う競技者に限り、競技会30日前までに治療使用特例（TUE）を取得してください。競技会及びTUEが必要か否かは、以下の手続きに沿って確認してください。

① 自身が使用している治療薬が禁止物質・禁止方法

(<https://www.realchampion.jp/what/health/about/>) に該当するかを確認してください。

② 当該競技会が、国内最高レベルの競技大会一覧

(<https://www.playtruejapan.org/code/tue.html>) に掲載されているかを確認してください。

③ 治療使用特例（TUE）の手続き (<https://www.realchampion.jp/what/health/tue/>) を確認し、期限までに提出してください。

- (5) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を

問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意してください。

- (6) 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 1 時間の安静が必要となるので留意してください。
- (7) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、日本アンチ・ドーピング機構 (JADA) のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認してください。